

イバラモ

Najas marina L.

イバラモ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

従来はごく普通の植物であったが、近年、激減した。(現況:V2ー)

形態

雌雄異株。葉鞘の縁は全縁。葉は対生し、葉身は線形で、長さは3~6cm、幅2~3mm、葉縁に大きな鋸歯のあるのが通常であるが目立たないこともある。

国内分布

北海道、本州、四国、九州に分布。世界の温帯~熱帯に広く分布する。

県内分布

能登、加賀中央区に分布。近年の調査では報告例が非常に少ない。

生態など

沈水性一年草。花期は7~8月。

生育環境

池沼やゆるい河川。

危険要因

河川開発、水質汚染。

特記事項

本種には変異が多い。



古場田良次・2003年9月17日・加賀市

